

集落活動センターであいの里蜷川（黒潮町）



拠点施設
情報

旧蜷川小学校
(幡多郡黒潮町蜷川660-1)

☎0880-44-2010 📠0880-44-2011



○ 主な活動内容

＜宿泊事業部会＞

銀杏の木がシンボルの旧小学校施設は、体育館や天然芝の校庭を併設し、個人、団体、合宿等の宿泊に利用いただけます。各種餅の製造や、地元産食材を使った手作りお弁当は大好評で、多数のリピート注文があります。地元の方々による屈託のないサービスには定評あります。



＜商品開発販売部会＞

- みょうがの雫
みょうがの茎部分を使用した、甘酸っぱい漬物です。黒潮町の天日塩と入野砂糖を使用しています。
- 芋揚げ大福「ぼっくり」
「さつまいもを芋餡で食べる」新発想の揚菓子です。干し芋のような濃厚かつほどよい上品な糖蜜の甘さと芋本来の風味が口いっぱいに広がります。



＜イベント・体験事業部会＞

- 田舎寿司づくり体験
地元で採れた食材を使い、季節を感じて味わうことができる田舎寿司づくりが楽しめます。
- そば打ち体験
地元で収穫したそばの実を使用した、蜷川そばのそば打ち体験ができます。屋外の野点傘の下で食べるそばは絶品です。



○ 活動への思い

集活センター開所以前から活動を始め、足かけ24年になります。発足時のメンバーは、時とともに入れ替わりながら継続してきました。今も継続できているということは、自分たちの活動を通じて地域が明るく元気になってきた証と思い、これからも続けていきたいと考えています。(会長 橋田 和人 様)



開設時期	H28.4.1
運営主体	蜷川地区・(一社)であいの里蜷川
構成集落	蜷川、仲分川、伴太郎、米原
人口・世帯数	227人・120世帯 (R8.1.1時点)

地域の自慢
海岸沿いの国道56号線から車で約5分に位置する中山間地域で農業（水稻、施設園芸）が盛んな地区です。とにかく人間力と団結力が地域の自慢で、明るく元気な女性たちが活躍する自然豊かな地区です。

○ 地域のこれから

人口減少に歯止めがかからず、明確な改善策は今のところありません。

しかし、やれることは諦めずに続けていきます。先人たちが築いた故郷を、これからも住み続けられる地域として、自慢の団結力でやり続けます。

